

- 6・7 「イスラエル核」議題に一国際原子力機関（IAEF）の6月定例理事会（ウイーン）開会、イスラエルの「核能力」についても92年以来始めて議題に、イランの核開発問題に加え（6・8M）

民主新体制一「脱小沢」色演出と菅内閣発足

- 6・7 民主役員人事決まる（両院議員総会）一幹事長枝野幸男（46）、政調会長玄葉光一郎（46）、国対委員長樽床伸二（50）各氏など党人事承認（6・8M）
一小沢一郎氏、総会欠席（6・8A）
- 6・8 A「小沢氏喚問に慎重姿勢一枝野新幹事長、党運営透明化推進へ」「『小沢離れ』勢い先行一『政治とカネ』試金石一参院選、複数擁立見直しも」/
M「『脱小沢』を徹底一枝野幹事長『透明化』キーワードに一民主役員人事、玄葉政調会長『公約に消費増税』／Y「国会延長、参院民主が反対一執行部は『連立』配慮、新政権最初の関門に」「『脱小沢』選挙もカネも、党人事一党人事、安住、小宮山氏担当に」
→A(社)「菅新体制一『政治主導』を手始めに」／M(社)「菅内閣きょう発足一『脱小沢』で新しい政治を」／Y(社)「民主党新執行部一『小沢支配』脱し開かれた党に」
⇒6・8 菅内閣発足一首相菅直人（63）、官房長官仙谷由人（64）、外務岡田克也（56）、財務野田佳彦（53）、総務原口一博（50）、国土交通前原誠司（48）、法務千葉景子（62）、行政刷新連舩（42）、金融・郵政行革亀井静香（73）
一初入閣5人、11人再任（6・8Y夕）
→6・9A「強い財政追求、菅内閣発足一『最小不幸社会』目指す、参院選勝敗ライン50議席」「菅カラー首相復権一官邸・党の一体重視一会見前、閣僚へ個別指示一発言・行動参院選モード、脱小沢路線修正の声も」「財政再建に本腰、菅首相『新たな財源、議論する時期』一消費増税シフト鮮明一規律重視派ずらり、亀井氏と大きいズレ一歳出削減へ公約修正も」「景気からみ成長戦略一さっそく円安言及、首相『輸出にプラス』一米との改善

急務、アジアの信頼に直結」／M「『最小不幸社会作る』、菅内閣発足一強い経済に意欲一参院選、目標 50 議席以上」「参院選日程綱引き一『国会会期通りに』、党内声強まる一国民新党は警戒」「小鳩路線から脱却一『政治主導』再構築図る、日米関係修復急ぐ」「財政健全化に軸足、税制論議本格化へ一主要閣僚に増税論者、与党内に反発も」「公約見直しも視野、菅内閣政策の行方は一子ども手当満額危うく、年金改革道筋見えず」／Y「菅内閣発足、『財政再建、超党派で議論一参院選『50 議席目標、7 月 11 日投票で調整一『脱小沢劇場』で支持回復』『斬新さ』前面選挙戦へ、高支持率民主強気一野党、悲壮論募る」「首相、消費税論議に意欲一『借金財政』危機感、子ども手当支給額焦点一法制長官の答弁禁止踏襲」／H「菅新内閣、反省どこに？一前政権退陣させた大問題打開の方向見えず一普天間、『日米合意』を誓約一沖縄の怒り眼中になし一暮らし公約破りそのまま、消費税増税論者ズラリ一政治とカネ、小沢氏らの喚問に背、『けじめついた』と幕引き」

→6・9 各紙社説

- A「菅内閣発足一『選択と説得』の政治を」
- M「菅内閣に注文する一財政再建の道筋示せ、熟慮と信頼の外交を」
- Y「菅内閣発足一国家戦略を明確に示す時だ」
- N「菅内閣はまず政治の信頼回復に全力を」
- T「転換期に挑む覚悟で一菅新内閣スタート」
- サ「菅内閣発足一まず国家の基軸を示せ、言葉よりも具体的な成果を」
- H「菅政権発足一反省と自覚が見えてこない」

6・9 Y「荒井氏事務所実態なし、国家戦略相一都内知人宅届け出、政治団体 7 年間一報告書 4200 万計上、『家賃もらっていない』」／A夕「荒井氏『問題ない』一『実態ない事務所費』報道」／M夕「菅内閣幸先悪く一荒井戦略相家賃不払い、民主『やましきなし』」／Y夕「『脱企業・労組献金』遠く、民主閣僚ら一政治団体含め一6 人、7 割超依存」

6・10 各紙世論調査結果

①内閣支持率

支持—A60%、M66%、Y64%、T61.5%、時事 41.2%

不支持—A18%、M25%、Y22%、N22%、T25.2%、時事

②閣僚顔ぶれにみる内閣への期待

評価、期待—A60%、M69%、N63%

評価せず、期待せず—A16%、M27%、N16%

③小沢離れへの評価

評価—M80%、Y76%、T80.8%

評価せず—M15%、Y15%、T15.7%

④普天間移設に関する政府方針

評価—A49%、M51%、T52.2%

評価せず—A26%、M40%、T34.5%

⑤消費税引き上げの賛否

賛成—M52%、N59%

反対—M44%、N27%

6・10

A「菅新首相に期待 59%、本社世論調査—投票先、民主 33%、自民 17%」
「V字回復、民主高揚—『脱小沢』で開放感、標的失い野党じたばた」/
M「菅内閣支持 66%、本社世論調査—『投票先』民主 41%、枝野幹事長 75%
評価」「野党、焦燥『敵失』頼み」「民主参院『早く選挙』—国民新『連立
離脱も』」/Y「菅内閣支持 64%、『脱小沢』評価 76%—本社世論調査「民
主『上げ潮で参院選』、内閣支持 64%—選挙優先の流れ、国民新はけん制」

高支持率のうちに参院選を急げ—会期延長せずの計算

6・10

民主、国民新へ会期不延長を通告—内閣支持率高揚受け、選挙優先、郵政
改革法案先送りの方針
⇒6・10 与野党国対委員長会談—6・11 会期末延長せず、7・11 参院選固ま
る (6・11M夕)

⇒6・11 国民新、民主に反発し亀井郵政相辞任一連立は維持方針

→6・11 民主、国民新と合意一連立維持、参院選後臨時国会で最優先法案として成立計るなど（6・11M夕）

⇒6・11 自見庄三郎氏（64）、亀井郵政相後任に就任

→6・11 A「亀井氏、閣僚辞任へ、郵政先送りで引責一国民・連立は維持」

「上げ潮民主強気、選挙急ぎ譲歩許否一国民新の揺さぶり、辞任劇へ一世論離反のリスク回避一郵政『脱小泉』足踏み」／T「勝機優先民主譲らず、会期めぐり攻防一国民新、閣僚辞任で意地」「社郵政法案一廃案にして仕切り直せ」／H「消費税増税、閣僚大合唱一菅政権、誰にとっての『強い財政』か」

6・11 菅首相、施政方針演説（衆参両院）－「強い経済、強い財政、強い社会保障の一体的実現」「郵政改革法案の速やかな成立」「財政健全化に向けた税制改革の着手」「日米同盟の基軸」など強調（6・11 各紙夕刊）

→6・12 N「民主参院選公約一法人税下げ成長実現、財政再建と両立目指す」／A「見透かされた亀井の乱、民主「離脱なんて無理一国民新、結局は選挙心配一法案通し実をとらないと…、選択肢なかった『最強団体』」

「首相所信表明演説一財政重視道筋は不透明、選挙迫り現実路線一債権 2 段階、中身調整中」／Y「消費税含め税制改革一民主公約策定、法人税は下げ」「財政健全化、超党派協議進むか一首相呼び掛け、成功事例少なく一増税の責任分担図る一民主、政界再編の可能性も」「財政再建派に変身、変わるか民主政策一自民抱き込み狙う、財政再建会議を提唱一参院選公約大きく軌道修正」／H「菅首相が所信表明一普天間、『日米合意』を実行一消費税、増税検討へ『会議』」

→6・12 各紙社説

●A「7・11 参院選へ一否定のパワーを前向きに」

●M「所信表明演説一指針裏付ける戦略示せ」

●Y「所信表明演説一超党派で財政再建に取り組み」

●N「首相演説の決意を実行につなげよ」

- T 「菅首相所信表明—具体策なき現実主義だ」
 - H 「菅首相所信表明—都合の悪いこと語らないが」
- 6・10 牛口蹄疫陽性—宮崎・都城 208 頭に／都城の農業産出額肉用牛 151 億円、豚 225 億円、市町村単位で全国 1 位
→感染確定・疑い例 280 例、発生に伴う殺処分対象は約 18 万 6000 頭に (6・10A夕)
- 6・10 司法修習生「給費制」廃止求めて—ビキナース・ネット設立集会 (都内、若手弁護士ら 60 人参加) ／市民緊急集会 (160 人参加) (6・11H)
- 6・11 第 11 回ワールドカップ (W杯) 南アフリカ大会開幕 (各大陸で予選勝利 32 チーム参加) →7・11 まで (6・12 各紙朝刊)
- 6・13 はやぶさ帰還—03・5 鹿児島・内之浦からMロケット打ち上げ、約 20 億キロ航行、05 年、小惑星「イトカワ」に到達、土砂回収カプセル (直径 40cm、高さ 20 cm) が約 60 億キロの旅を終えて、オーストラリア砂漠地帯に落下 (6・14 各紙朝刊)
- 6・14 Y A (世論調査)
- ①菅内閣—支持 59% (前回 64%)、不支持 27% (同 22%)
→A—支持 59% (前回 60%)、不支持 23% (同 18%)
 - ②国民新・亀井代表の閣僚辞任と今後の政権運営—非常に・ある程度影響ある 33%、あまり・全く影響なし 61%
 - ③荒井聰国家戦略相の架空事務所費計上を「問題」なしとする本人の弁明—納得できる 12%、納得できない 80%
 - ④宮崎県口蹄疫被害への政府の対応—評価 37%、評価せず 53%
 - ⑤A—消費税引上げ—賛成 49%、反対 44%／消費税引上げへの態度を参院選で重視するか—重視 63%、重視せず 30%